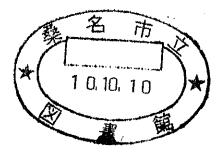
布留昼草纸上卷





関や石物不師の別次大小家在全世音丁等小向 な小す。 三国世誌薩型に次り 八香百姓であったが生来記憶班く書籍ましたい日であ 和土該要取事」の一と一て本書の後刊を見るにころへことはまでは、 むらくは写本と なく採用し見前のましる記録して研究をかえた上は飲みり小次のその記憶の強い こう其数の得かル事を多しと述べているとかり五色情取 超月八十五十五日安尚以歌 双七十 好該はこの外に「村書国話」、動陽雜記恰遇」、神風微古録」等心あるが、動局五致管理を国史及心故志の口碑傳說を採用して季水したものである、久語の若た何勢の \bigcirc し初州方经歷しテ張へれ所該一里ニンサ七年新奇、該了 若者古公久語の三重都常磐村松本の人心松陰所と生す 享得三年に生水僧及四年三月三日七十五歲、七十三に作りは該)でせるさつたえ来一支不知の は数馬倒すべく 给奉 自りその最大に通り 古谷 等無」又は「古及三首子統 その後の御史なの多大な意子には見、 煇 なきからて 同書前該統論。中二本書及 行勢の古地誌で伊勢の各都 待ちである。こったい 行勢绪古是一年新月題ともいう動乃非意為細 まるまありた、その母散上的火に精通する、同き旦つ行動、各地で三たい必をして見情を 代《主日·传》又一年八合川土清 与常力逐素品 久語著 北勢史該會上於了聚名 せりれて夢ってされている、情 何がわ 然上ドモ村老ノ巷説り作用 とことごとく時間で の三部該を一指して之を許 八六将軍吉宗時八 手以为るが、動陽五鈴遺 柳いっき其二些史地 してとである か 降 生 口得該主公軍 巡歷一大失蹟史

聞た時の事情主婦你不久中を二大大陸直息文は後々後されてる人致こ

この土日では上め其他多数多見る素力

出了七八一個子在各文調整面打在在工門犯書節聽上與時又在卷三冬四 小の実をうりうなくないの人たい 近边古歌、華城、乳されたといかれている。但記憶はよめった必種として熱であったではると清潔係から際堂候へ依頼一歌記の著作をするためは食動をなーマれて改了情に高いかららに記得大伊教の古事を直かに該書記述、たったという、えかま路には 7<u>\$</u> ものながそか自存によるとす年を聴音であった。年の 京兴之子に子蕉くないられた、天白杨野の寺内に入ると本意了出後に天然石東政四年久語の世る大名と共に年の西端(長衛)在石名な三里即日かな日東政四年入語の田子久語の世る大名と共に年の西端(長衛)在石名な三里即日かな日 同されたという。安外前後に成った江月並回該も行勢の地談で国内の極事を記 古谷氏の老熊と見て住人が記せ此順は大分衰もたるあろうと、うとうとうと 田及行棒其下部尚一油の

高き出たと降いて三尺九丁の高神か立って住て左の神 然か到されている。

神之の七十八大から入校を記してはのか七十の後、目論見か三年目の住民改三年

和一五、二、八号) 仁生人が同性き 看來了了人人 文全却及に発之近年借からはの横を関人で日本村なお本八日公り は減に行会であるとなるるる方人に成る兴

でいる選請さるおにするのみたり、有失男の一大と天思うと甲すべるである。 この大ひれ勢及徒会かりた公共が放行されるに至ったのもろ事業の場

之間に二四四月八四年八九年及一人大年及一人大年及一人人福在北十 三年一〇敗明虚就禁一百里四天小河下降下河流不幸中心山時级連里の京高子古答文七書前一百三星縣史裝会結三十一就因二家行一花各久得豊子家林 [矣~孝] 转近世所人伝卷三件其侯)。家伝資料大田南故若、史智報复至其 至月寺是通前以及寺衛不少五十一館(三里縣又按会教 大極原一(同上三人二) 八國中日行題人立立日意 山野學理事

おいまなる里く布留うり小野 まれ是そ此因乃其書有小は直、王方上て恐の安見な此格此表家 たの為るおは昼のおきる動 えらことろうららめ此国まかってもこと ありはいったるとうよ 学年と名付て老公司自いっ 得用られなるこの祖と一月建してころり世にする水たる事神魄く 下くゆとりる物のくうく 周つい治のかれてから重ならかれるなりけりられていれていた。 小野の柏よりもふるく百年とのと手の 物のくう人人追食本的てことでとかれる古屋此世寺其海山川野食世の路も名残たつれいくい古屋の老部古台町古古屋の北町町村 の作うようちきぬとかはつちう 日和あられるときとりそけとかれからすかってきまたってからめからからなって く公主日新ある、香中工市出正 徒なるや 1, 2, 1, 八階軽斗 はに型子あかめし て物見るかきとく しかうの祖と ヽコ・えっヽ

江順の電海高引

为人 き明さなしたますいかの場かられにすます 得い一て二巻の重らななりれる中ともなめまるいも設まもあり事人夫をひろひ高くかりたきは到了所くの古老の口安見より 神風の伊勢、名勝も他に地で多りて其名勝事就をかいる 四中を見る華三大意之回史の最小年間聖事小たり了 一人とも、はる、華思多一斯で出る人本表を中心はあまれくいてとも、改る、華思多一斯で出る人本表を中心はあまれる 事人, 一見眼のかた 这了五月回地理,看了色子! 一其、あやまりで正一五日回の名勝事公司

于時天明八年春二月

北教 布留屋松跨軒

屋草紙

, 発名神名院 福州る山三越王フ 茶名神社和 上述浅 大棉姬 告在特田松 華 鲤新 愈 數其外諸為田息 芋等 走台通 北中北方場即以北京場 告诵给 牆杉殼

神名限左子中土工、千中領主請士也一定野山正新房水源二十中領主請士也

據田神名限 海阳神社 姓氏绿巨天津考根命後行写意我部命旗田鄉 考恭于大角显大旅菜、萱芋芋 宽平这里,行官 仁和寺,華 帶

刮額和 後藤本即左工門 部祖神也 永禄年母後諸士中

龍宝山 竹見土丁松平隱岐子菩提所国即百石此境及"粉泉式新别所横出外上野 大夫 两周相田 蓮花寺 西方 東方 大夫村了大人神樂獅子六年三重都而令而到了少六祖坐土祖五大夫村了一大神樂獅子六年三重都而令而到了少六祖坐土祖五

福息、

野代鄉 大根、芋、菜物

中江村清十即此本于斯于葵名八門、聶卜又多受大神宫、宗門、神經前 清十即此本于斯京城人下三又如北春哉 荒湖之是十八山神名恨山山神社 大山祗命 世界代 小山神社 大山祗命 一世 神名恨山山神社 大山祗命 中海部野代宫、御钱坐四六年八二条鹿郡李县改志忍山蹇幸中还都野代宫、御钱坐四六年八二条鹿郡李县改志忍山蹇幸 建草即日人皇十二代 至仁天皇十四丁五年天昭皇本神是州中岭行宫马 大風大而三ヶ清十部屋布俄三東西三别上也處及後是東西八上十名少中江村清十部此水ヶ斯方祭名八郎、南十五多夕度大和信以行丁

神風が神戸師神四三正副米九斗祭科光追西米一石神風が神戸即神四三正副米九斗祭科光追西米一石

等之年神孫院是律神社 即因十九町大堂三年七月八日格二牌部、伊斯大神封物是神 年 即 產 阿魚 新大学之主年七月八日格二牌部、伊勢大神封物是神大堂之三里七月八日格二牌部、伊勢大神封物是神

性并失乱記 西松要人永禄年中領上軍了歸一衛軍 法银子派承尔律所称条件百石格取 市町站齊 这银子派承尔律所称条件百石格取中的一時间的 尊敬 三十八 是那二乡的一角八是律,确扎了一个里,此,即敛,八神,祭山 和领 即愈,是张,确以不,此,即敛,八神,终山 即愈,是张,确以不,此,皆是,神,称,明 时 十九町

多度神和眼多境神社天津秀根命一些神与年为月为日失而多度神和眼神社者兼教新微 事節合かり 於馬令在觀 五日 野 教生》 美鹿的

重里 穚

原北京都康西七里南北二里川西多面山林出湖木弘仁天皇天东江京東京 山鱼 東循水止兵式 川中二大百明石 下处于成 苗代神社 裁神 油鸣新用川中三六百四百堤中一湾广东广西于伊山中三六百四百堤中一湾广东广西于伊山北江 上が見 行源

神风地遇生延鹿年後 馬客職之科問題日在原本等 神信三坐教之中等之不可知時代多理孤島類師等 非得不称解神信三坐教之中等之不可知時代多理孤島類報神 部 都 是 恭 韓 神信三坐教之中 等之不可知時代多理孤島類 新 是 称 常 神信三坐教之中 等之不可知時代多理孤島類 新 是 称 常 即左衛門永禄 年 申 領ス

重に天皇世五冬十月末 年生 級歌是地 諸国他九八百令还作游什仍行道

太知 生乳 神名帳 千群神主 本免宿孙 平野神明田 神名帳 滿田神社 大櫛 姬明田 神名帳 滿田神社 大櫛 姬明田 神名帳 滿田神社 大學 友同本 是所繼蒙, 坂 井 筵 大鸡 一个一个里看加之由不請,私奉 宁西城 教 定年被停止兴中理奉加之由不請,私奉 宁西城 教 定年被停止兴中理奉加之由不請,私奉 宁西城 教 定年被停止兴大家三年八月二十七日 近衛大将行陸與出羽投擊使藤原朝臣公見類依宣奉動行一郡三河遠州新神戸大神宮衛衛軍在從三位行大納言華布得門蘇原鄉之入被大神宮衛衛衛衛衛在從三位行大納言華在伊勢大神宮一郡共封戸事间刻食新封戸三千戸天慶三年八月世七月符二百烟大政官符民即首在秦加军 左大史正五位上 大流者 宿科在方年五位下新行 内藏頭魚鄉馬屋的者之類准弘仁八年十二月世五月格行之 电粉音之频准弘仁八年十二月世五月格行之

小城堂莲

ラマタケン人八聖養平群ノ

山ノタガレカ世ホラトツニサセツンろ成立

一种田三町

生物病 次本部面 瀬古泉 水本期田 天本明ストランラサリ行い屋川三代サエ彩中見三で成うしま 上屋川山山安渡寺 伊勢順礼 無別 新屋 かった まま 野産地 生態 解 解 新 襲 又 貢 秤 省 菱質等 兵武大本食人永禄年中领大水本 新厨上分甲三町名甲三石 在山田 即厨五町 鸟取山田神社 鸟取部 建祖神六把野 北山田神希惟鸟出神社 鸟取部 建祖神盛忠 神田 悲冽川 五及田 鸭男 软水学 院 忠、神田 去河例川 五及田北太小大井寺又多井寺 上的何山为 以見外川流七里似通路五里十二町 车魚、鳟、 長深 兵部福永兹後少永禄年中领長深 多奈都神社 天日就島命 職男 然本上至 一般男 然本上至 十九年 新海土分田中町大明神公田有 長光

下科場 神風抄 你厨下平 向平 向平 向平 自田 下笠田 其至 字野 神鳳的即日今日町御井園 神鳳的縣即園十五町段別五外校 宗 神鳳的師財 世丁上分三石林及 宗 神鳳的師財 世丁上分三石林又 宗 神鳳的師財 世丁上分三石樓村大山藏是到美昭将年和供之是州信長の稱為是記表を討東一色 金井 迪方 該田左馬助永禄年中領上等田神風抄御街上分田三町名三石後膝右馬充永禄年中領 阿氣巷神鳴的御厨十四町設别五件每月六齊新田 中之军 中津军 南中津军 鼓中军 鼓子亭 方山主計頭 永禄年年領 神風抄大谷街街外官三石神田田假 源. 新 行勢順礼二大八年 神台張大谷神社水分神

市場大見戶師提及本層唱合小觀音手位在鄉等自賴好可以為了一個門上分三名大學的自賴好問題上之出田母是一生人工學上之出田學上之出田學上之出田 科田"十二段 不言人子良神田三町四段部供田一町五段四所樣是神田用福名二十子良神三叶八年的完神田并即科田十二町件側切新其末神田五十正月部供料三十八年的完神田并即科田五月,复年生了是今三百坊圣塚十三枝郷了 神風抄 門堂前間 大井田 松平地中午即改アノ 條立俱養事佛俸教大郎作 米野外官部園三十古空一色上相物 新母東野风 一一合 東禪寺庵 神鳴的本級所新納所葉子與具以下供祭 石埋御厨五十石白米石部神社天日就鸟命中田神明神野河时入日郑食料中町十石井田神野河时入日郑食料中町十石前、光莲寺、紫虾如来大慰秀吉公有禁礼前、光莲寺、紫虾如来大慰秀吉公有禁礼前、光莲寺、紫虾如来大慰秀吉公有禁礼 行り上分です 小戶行 石神社、後豊恆 正下 鳴合小觀立日寺 行動過礼せ七 楚二有風此九九丁 川る小

海集 柴庵三在了人格的上表了中世上午方工有相信我的好好 神希服 宇观神社 宇賀都魂神声湖 神希服 朱神神社 宇賀都魂神東村 北村 草村 下末

神益策鳴神社 大年神上新華 下新莊 久保 福寿草并茶、新

沿田 産 盆、柿、辛、茶、薪

楚 奥村 東友 見戶 中山着腹門 好好 大石 别名新田里後世

華華記弘仁天台王天發七下印朝明郡十四町二段帝華華記弘仁天台王天發七下印朝明郡十四町二段帝是郡東西五里南北一里全

万葉ラクレニレ人ラ境々なたい野崎木郷トリンテアンち返ノ 野兵人 府尉 三十町 卵 呼 差大根、茶大豆、菜、样、子。 田一中物一大师

正被推注一个和印题 此社境 引流了川 米 黄川台 在 神風的 即断 天体四年 有别有的 医 四至 神田 大田 電女命 在中,此下,官 神郎 了 此下,官 四至 神田 大田 電女命 在中,此下,官 神郎 了 此下,官 四至 神田 大田 電女命 在中,此下,官 神郎 明 那天禄 四年 九月二百烟 在 神風的 即断 天禄 四年 九月二百烟

福州土 地里田人 山製造時 我世上城 五十丁二分田一石五斗科科七石五十种水原八十大震山田 田 那 考 草復 草鞋 哈又演说来上入 良常開其三四九月三八九日都問群参行勢過行三番

かかれ 计

雷田師所六章十二石名三石

東區田北鳴神春順自出神子拜後出水水人三之共 姓八基盛が松藏、地造為田特田一門所領侵取中首之時田相携守縣神行為其朝有新感被的一合門所領侵取中首三重都十個以之為一世被干錯倉召博省朝公都尚二乃之旗角于折了井空以相出天皇八代後衛中信在土致老嫡儒田三郎楚盛春日本兵宿田即断六年十二石名三石 西富田

自出神社 雅鱼明种

不能 簡本記記太天子預貨 渡海外多 業源

世 日 色 埔 福 青 福尚原面十五丁名二行聖武天皇天平十二年冬十月行官

柳井成神田 柳州 井风神社 季葵山馬合門小白 新聞 三十丁三石七十

三次来,河西都神灵,城市这一上上城中教于大步上出山留与城市及井下沿水三川人道。宇宙是が城弘治三年江州佐文木匠小食石三河宁五千全野

一个个田 澤夜神田 年與 鄭等 神名縣 布自神社 木花用甲烷 海湖川田老山马海鱼几五里 早與 鄭等 如打 內官 那麼三石八午 神名縣 移田神社 聽 資連 理 報 所屬一石八午 神名縣 移田神社 一穗 養連 生 年 等 與 新 野川田老山马海鱼几五里 写 单 新 野川田老山马海鱼几五里 写 单 新 野田 神名縣 有 其 養 華 等 案、 群、 大豆、

伊勢国全作部連漢人女得者村国雄依男然大位艺我文學在 奉 军、解、芋、大豆、新文学在 奉 军、解、芋、大豆、新文学在 春日部本一郎左待門永禄年中领

其日部大幅城要管壁自一地也信長,大年一段了了味力了東大鐘 四大鐘 照有解社 查野姬世

產氣、科、大豆、大根、茶、茶 見水棒七即不少字水禄士子传表"珠之去上校

殿前備州殿公司大居士永禄十一己十月十二日寺院示慈生院帝楊 等 保福山大樹寺 凌念備前守菩提所大樹寺院中縣 神雀順植 案神社 姓氏绿日千潭建八天津考旅命後世神系服保守御 卸厨一件八件 名三了

李卸龍燈城了以外了一珠信石,视行圆井子了中野 就像 暴降大即击战家男成会小同時正了徒棒大西村 名一名五年 致前"城主民食儒前午永祥土十月為信候节 受此記。故主民念備則午永禄十十月為信徒

野鄉 差炭 新大根 柳 景、辉、大豆

大不山情用手於古詩拾貴日大地主神智

中脇 八峰·武 独 井子 部局 四十丁三石 馬場 之 分成 在 4. 大日如来 并于神社 垣安神 空海作 之義也也

時位《木承複三夜」與追於三十二首指信長後二華頭公儀野冊改守三根平越一禁圓通寺住僧盖住房館就与能不信長江州発的不解除一二関少后摸一回,從一言都一上,朝雅三十人等聯三三坟未攻之敗上不一對沿路,追然 元久之四月 伊勢平氏蜂起 時鈴鹿山八隻主教

同阿波野此野出樂其名難知其主人者稱,川芎,治産婦有飲以土記移田山此山端木不,女又出,名石,大者如大臭深堀出,美妙合此善住房,首司到了几下三

田户即面世了神名作 月利神社 次年神子里 是清爽族失命故民声祭之确之称今绝原海造此称多鸟颜色灌变族失命故民声祭之确之称今绝原海造此称多鸟颜色灌变病神 護二年秋七月森中望動而有異香清充隔三月而主民,午村界野在二水鱼河集、水鱼山水鱼游、千草村奥高港了东、朝明一片在陀野在一河坡野北多崇兰

因っ強真。基づり

神系限力 個田神社 川田姫

夫木木八根又川朝明八山、朝凡二殿三八分テ九少世行夫木八根又川朝明八山、朝明八小上又六岩南小小音が八日 冬寒時間ノルトンヌしいおあいれい音グハレスル 定家

三重都

辦事記神是三百烟村工天皇感和三五成二月三日大政官行天衙已報事記神是全南北二里日本武道是是成二日三日大政官人 年正月世八日神田别信社按除之神十七町以二战马供田大官司

江龍進 生野 三岳山龍一卷生山三岳寺不動皆公海上人平岡神社一座奉堂等美月十八 平岡神社一座奉營難知時代矣工記舊生野多里竹平岡神領也松背出土才屋布了工記舊生野多里竹平岡神領也松背出土才屋布了大中臣中理任奉犯之不請私奉發勘定年被停止软

可想 御一封 名三石 小林丹波守城及子孫下り機 信神用一丁五段

福田加州 行動三郎ノ屋布アク

内官二十丁 名三石 郑 產 大林、茶、栗、种

外好降至有

中學打水部 新面面 一个丁上今六下神里打水部 新面面 百八十丁上今六下神里打水部 新面面 有八十丁上今六下神里 阿奇斯 新面面 十五四 名三征 部面百八十丁上分六丁神名特 ìI 田神礼五十功命一日本的

領官子甲了礼三天六天皇儿所一来 昼葵场自温三朝

明三越并正了 山一多巴金里极少别海老年神外的衙一大不

一年两月九石三十周石之四福石石之川北沙底名三石

下揮 原港的頭中田步觀之未也死后在你本承後沒被轉力不可 两好九石三十 明石之外 循打在人 京和七年大校村三年前一元和元年五月1月月八巻長十九年春日 論一中新経入其子又三郎一古州和一次一卷長十九年

替也仍在,其例,且在其例所,并替已要朝屋依宣旨会并重定子懂為有,即此八年之间雖不下向依然宣旨科後上主水朝与未蒙勘此八年之间雖不下向依然主下及令追主水朝与未蒙勘勘此八年之间雖不下向依然主下及令追主水朝与未蒙勘勘此八年之间雖不下向依然主下及令追主水朝与未蒙勘勘此八年之间雖不正信即后住人等也仍然重定要,所前司干谁这朝臣然者又件左衛門尉然者共正活之间暂事就守多天皇仁和四戍中三月三日福生社经事、按非遗使河外南

六召見 所院各山観查告後花園院勘顧良此上人前基準都三郎 好 三不大町 有新人 朝雅 三千全騎 未而誅之 解 一部 开家士世 為 親, 亡忍仇, 而无久元四月起, 謀及韓国從東部長田鄉所三十町 名三石 周本卿尉

成果花 三郎三合为合戰人元久元年四月共二使綠林 本部局三町三石 東鑑高田進生教史了二四次本三郎时日夕千今日夕午三八日永十八八十二見元松了一本 西行 見かる 院世石町未印

世濟一次三分錄回家有所祈祷每回建分軍手當氏将軍活用野 子良神田三町 何燈祭星楊山安國寺 光明院畅頭 西日野子良神田三町 便燈祭 里子福寺"帰り正凌元春西日野縣神港空三現之的妙花为降江王刀諸人 東日野 関眼之事師虎関禪師也從年都 110 外田每面何意緣本夏寺支件三部 大根多出 赞在人同年秋七月帰福寺たちた古本では古る一七日月経テ各門由 来一七日松豆成経ラ端スニろ苦 苦スー七日ラ経テ各陽東 古居士建立世

神學的屋山 年四八神建立元年三九月三日枝 一田三段

向大 H ~ 小和新田河河南

生 棒 虚家领時以私,大井手,

三战 名川家可安門的有之 心息 北山田部町川里的成力輔政品 伊勢三即差有上

都可職田六町 出日する場が上る

海道記行住又去来演打一立ヨラン 天礼記文明二年 俵美作分 築城 大木八曜三重の川至午園半りテュタカマケテを校上、万葉八曜三重の川至の磯南小如是鴨品鳴蛙可聞では外、名少年領ス 好供做人地代称完 島羅波海 知即免之 新未即有之其時州堺三り替了江州甲賀八思出夫三少四日十二来,三州海渡至三 正四竹户身合殿言到不野国来幸城地与医生了、幸城家、演田家下医一信长三降春天 天正十一年 世原军奉衙衙三丁名三石亥紅狼根的少文明三千统下 己年明 知即免之知未 印有之其時 知え外群及之時處像公白水 四日中野南 明スキレハ日永成かり 万伊比麻己

生素和面面的 神作正り上げた 生幸、大極即衙二町二段 新面 久保田 長不山京八寺天平年中行墓前其 長松山八八寺天平年中行基尚基 判)例

月老天五郎一揆与竹匠直高角城外今大日子乾三有之 西野山寺方 即面三町 松樂寺 天平年十行其中南基 集鑑日之久之四百店的即面 以宫十五町外宫名三石 神光照神前神社 岐神神田四十三年,当中 二宫河面大町段名三石 曾非入道一殿城陆在三文宣车中代 不是師師 未

又演出末 河系田 内官令川野母 今信本本水 北野 江村 今点 查木絲 水泥 班教 後草 塩漬多厨以宮塩三十

神宫即神是一新世科宣上奏"公家依之佐国然路次被"召"影本官"公家,依"此往"举主佐国被"流"行臣国,依"振三重郡河居三省上大社入宝的等。李取河體奉令"领勤,仍私宣等"是被乱行交名注"上奏雜事,後未在院 长僭三巴仰大神宫 歷 宫 经主任间,即等正数"林凰竹河属"宫神田十八町 多成有山 主国助此禄十二年信长"降参关大里"一、巴

楠十部八信川運的五田信玄是取了上行勢是東了原國 梅 力 卵 查本符 又演業

茶作沒有樣人區,神社火明命姓氏語目采女朝臣者大明命大兵衛基情支险三月領及到,十五代,後據作系女但馬守永在一首皆一大的三月的領及到,十五代,後據作系女但馬守永在一首皆一大的三月的領及到,十五代,後據作系女但馬守永在一首皆一大的一門所向,於馬上門首,神社天何女命一年記孝德天皇元年田信町的是置,采女,三汽走連石僚等派之 見家 釋盖工士人人亦本等上品子二十 世後也火信神神田天香七年正月七八日馬門大政信答 南小不新前面風易地三少今於在那一人 念佛心通之下了有,故降了,還干一身田新堂即建立了少村、河南一十一正然何高田真夷上人建一寺号中山寺 一卷下後永禄十二千信長一降於三南方按以看下上正見寺苦提 正然好為田具竟上人建一步写中一山寺夷修 産大豆共 井 雅教 まれたん 南五件塚 北五味塚

人うたんなし

河曲都领天正十八小田至三方死人

東西一里今南北一里

依之第一衛 我夕信長,味为上十 守之了也你降之正刀後以方便和睦之七信奉了神戸家為養子

我即衣一足如何即即納得三匹甚十校巷三十枝独即即神過三正則呆九斗祭料并选過朱三石縣力了福三十東神風即神浴 神浴 雅 木鄉 大根

在干神户 天澤山龍老寺後花園院勘領北島滿雅奉,宣命高市神社 姓氏绿日其市建者天考根命之後也社地不一族今神 产驛 神系像 级野神社 级 豊姬昔 在除一在藏人友察院

部為,程序,神戸上面信孝上等人天正十二年信雄纲生励讃岐今子人神产三七即信孝上等人天正十信孝任四国智领仍林与五卷子,则其女家哲上人永禄十一信长公,三男子藏人及登人类就神户下领守者属一催世天文年中、张城国司二男马其盗,秦朝奉礼光孝天皇,時大庭武则颜,河曲神产,至 三日十一正統件如来手大子告共聖被太子前接 高田頭知上一之三王丁

西峰十宫十社神学人自,遗结

須加見的国上令大石難用十石神鬼限所自然,神社令八幡上年人 銀治町作石屋名常入造作名领 家鄉 大杯 童報教夫士十十七年の

王坦 神紅鴨影離神社土狗前垣安神言名牙厨桃大神宫工歌神紅長椅神社 垣安神 肥田 安塚美田部大橋

神為限人《表美、神社、李理四上作其用中等用一中等用一下其用一下其用一下其用 北岩な 林崎即厨 東盤文治斗中学位美平太领之民产,治哲公告和建筑和 董木锦又紫沙洋为村、田俊、早都小山朝雅三千全朝末、討之田僧、汝有一国俊、早都小山朝雅三千全朝末、討之田僧、汝有其有 有一国级、早都小山朝雅三千全朝末、討之田僧、汝有一样花私、南若松、朱鑑二三神盛時八年家,士元久元四月起来。 即製 万葉姓不完吾乃松全見渡西者塩下之泻仁田鹤鸣渡流及伊教大神宫即幸時五八八名 不好行官而 一餐 不好官而 天平十二冬十月大生十岁或膝至鹰艇群 計立土坡敗北入後土歧被止其職軍 以官 野厨 サラ三石 到好世了三石神希惟深田神社 若学質好田鄉 產木絲 又業漢

並裁人為一卷子,剛其女任如賀今里道,改老而写石馬入道 賴朝卻思行而治承四年多十月行目目代八致判信華隆力田子有三人如膝大里午後既棒次里午便加藤五里老何七 护俸不独言見事通鄉後主也無男子一能因次師在格子同

神為惟土師、神社天德日命、後土師、作祥田滿心福盖寺、神為惟土師、即时土器校献大神名土師、今一是世神為中生等慶天下三其名,輝大柳村、住工

中国一堂与神产城、引入十余万追出又佐藤父子成,生捕土宫产女们上時国一堂,来于神产工机势及佐藤臣,古市兴的传播与校立十全断"ラ神产"城市及几十十八条"大河通江南門小金与城引五十全断"声神产、城市公下上 神名惟 贵 忠 神社 天独女命 土饰、神社 天独口命、後土郎、公祥 用满山福盖寺 单,带之,神名惟:"皆"少少 受うかうル

会一世 司

東西四里 南北三里

度山が経ラ此山三末り王ノ山中三ノノ燈アリュ等王フニー人、公司了·向ケ巨鈴在山 世傳に天成天皇上大友、皇子二龍八八和州、大臣野山号、伊賀

後記平城天皇大同三年逆賊指,能干致鹿山心,故人,事与許,禁庭,三方烧屋断身与遇之期明迹得三万大神信与追拜,李龙誓皇国司三官建与以于经鹿山引攻上了中川曲,及本领宫司三重 前按内不公司日汝趣方行勢,大神宠护司深祈念,謂于山中之天 ノ汝人何粉少我八此山神大山祗命也動了这山中一按内仕上了翁追

上野 考年美 八日本 解明坂 工新 年福大

行之 瀬 同 華 聖生姓 保養 沿部一列方食行伞 徒 早速列取战事势争事中康留台承五能 野三山 剧语的好失攻南方平家為下知民出羽守信安勢守盛信 菩提所知朱印二十石 於底與延暫十一十一前衛追為歌家 川山隨東去

え木 門夫例即新司等一之处中与謂り如此都用馬腦時被過即可能等也然三今度為中馬之中於於在駅象做三號腦被忍不事記古時一会成院院原中之九月祭使主八成清中屋、少副之不蝦夷、八天是中终是、澳大之振、天为了千花、影故 定家 等一千念之後今送遊之何也近看後一件院衛仁治安之頃十 、キス是中参進ノ展ナラン振ステカクキ花一彩故 定家スキな野ハイマグ世ミイデス掛川浮目ニメアカショ地裁 し体一小一体和高前眼此选声蝦夷人櫻木ラ地芸孩成本不大

度部李具改表及山南該坐四分千鈴在縣主献与各安分野土透幸記日至仁天白五十八己西天明大神素系都從,野代官,於

진 心山 今野村上三神名縣及山神社前来真葉枝等多献人 江上 大田士修験供 白髮明神上的猿田方神 古野

東盤之久元十四月六十家,土地大五郎上君,為三仇可敢改隆了拿 落針 きるく 小野城二桶等後工品和小山判信朝 祖三千全騎三万坟来方許 在子孫女乃都三アリ

爱幸記野人野歌世三文皇大神、行宫神就是山神私服在気,神社 羽里横现 我自山神名作 倉門神 正法寺廃

之本生不許大禁庭此里也和頂所智本 木下三代資統日清和天皇貞親年中行勢国然在和了連理

江廣之負棒棒有之 南宫此心心山正福去水哉三千里的於 高 写 鄉 差大根 芋 蕎麦 文治年中一大

古事之 阿智铁屋斯和铁传统的多电俱色并多都俱由加井中的工作和的内心的一个并并有自自取日本武善政治、世代在本野之内也、河北连年念到世里言白自即根日本武善政治、世代在本野之内也、河北连年念到世里言

日本长岩牙野野

行所担外しる地、子下りに自動地、名意幸今自島塚孔高り日五十五年春二月後、国經向珠城、名意幸今自島塚孔高り本記里行天皇五十四年冬十月後、東国慶行歌門衛宮正在不本記里行天皇五十四年冬十月後、東国慶行歌門衛宮正在

在業師學家告席信例局世二丁以 沿泊年中為歌家石 東河上沒名人

地大今山,看下太 华山里于南西了大手中波水多五大水亭中京城 明軍家衛本 平山里于南西了大手中波水多工水亭上 山田 上田 五年前寺 五二二空海上人門禁也

飲水水時川中三多物地人

立 三重川曲 鈴鹿 三郡之場也 鹿向 下大人保 衛事部国分山金老明寺聖出天皇天平九年后建及川军六五四東 雷田六五 中區田 和每田 岩田 名 赵 李具志理,神社 長盛神 麻塘祖神

大一般田神社 天一街神 果 芋 毒麦人的复数 神教情 石神社 大山谷命 黄烟叶 是哪种种 我就多命 建新瓦油神体性 野田 長澤 神教情 石神社 大山谷命 黄烟叶 神教情 野田 長澤 神教育 大山谷 神教情 不知 大山谷 神教情 不知 大山谷 神教情 对 大山谷 神教情 野田 長澤 神教神 東 華 東 華 東 妻 妻 守秀吉大年,以下攻落 佐久问甚五印三王刀 奉城與長門守城路了り天正十一年十月產川老太大相等一個以大祭前 川新神名照野主神社 於在 野主也 此村了大神信六月年史歌

山本神名情春二大沙神社 猿田歩う神

大陸、此三十十日地方の畑方多り

神學中安全等所写上全一石也山野江水本雞是山野至寺延長三仙長上人後自川改領即所的 產品柿 栗新 野愛古本物 人同其作熟順礼二十五年日 多葉粉

子孫教子昌又此及到了五家。 與學即是利益了人將軍一位一方所領被沒收很人不夫可知宝治之三浦、泰村、群及三组又此处是依理即時政預之尚東是死不其子與左近將监查院是雜倉二位、教等,從一大年程,後務,安之之故免明改一子,發回上云潭民,世三成北後如三年程,後衛,安之之故免明改一子,發回上云潭民,世三成北後外監察一遭大政大臣清堅公嫡小私 仅大臣上里腔一男 新三位中侍兵配吏一堂 大政大臣 清壓公嫡小私 仅大臣上里腔一男 新三位中侍 宣明供,神事多念懲穢七月四十月八日格之記,伊勢太神鬼打物是神知的長明寺 棒世 是田山石森大田田村山石森大田田村山石森大田田村山石森 尾が若 一一年先生了大三丁有師是 处居艺干四月十四日松之大神自封户北改成之限,亲名那会在郡 巡さま 原力 不野当 崇福寺 行勢順礼 二十五十 更七兵所显清分本尚世 ニナー糸田

京が、長世郷 産大根芋 松葉 新新教神名版体生神社 出電槌命 角港が明神とる南崎ラリ神名版体上の神戸ラニニ別の白子道東国下向八岩やヨラ波海ス 本三献 幡間山然眼寺伊勢恆孔 十九番阿乃田 神氣帳真木尾神社 水卷神 二根質的 山此時街追力小一告八岁川,南里少阿乃田栖至野了国行是山野家弘治三年二前少安安教安發信受城了遷手里 六年本領ス 时声寺 住勢順礼十八番时声寺 住勢順礼十八番时存 神名惟大虎三皇之神社的野 弓削 等形 平田 型神系限夜天多神社雅幸堂神文治斗中高部田神系限湖田神和 福倉神 指索神 非難敬 田 第一 在 木絲 芋 雜穀 风乐好田 第一 海田 海差上手 小田 和京 一根百年本本

庐百

三三重車

国行位废守永禄十二年 信長 降多文

下之类 卡はま 文治年 川俣社神七古社上 一连 从 免 谷 英世神鬼帐 上外 是 久我 子資性神鬼帐 上外神社 が和一民神社 手力雄命 者 木綿 松葉 千ヵ明神

下が大

家 下在家 神武 かったし

夫木降リメテ幾日ニナス於左川八十瀬モンラス五月市項外展川、金高了以上 万華珍食川八十瀬ハタリテ油、エカを越ラ越に事もアララ

東西三里南北三里南北三里南北三里南北三里南北三里南北三里南北三里 冷 遊り好き的形与出入

海首記す 白子小觀音寺不比等建立作動順利十六番生家神和順比佐里知神社、木花南耶姬月夜六白子,演月白月八次年中外为二三五八为又成 寺縁起ニュテ外二此歌不見十一師製ラ下上平の地ででいていては、大大大の見に人やや常盤はランは境の三四季櫻でり、子城都、時林焼天皇、禁庭、ことに三夜に枯木上 立放しヒトリクルマノ船笠旅子ノ中ノ旅少火しキ 土地 豊麓也 神名限 久留真神社 微姬 属士機現上弁ス 躬長垣明

横地神春縣 神名音和 磁山 巻ラ北ス 张横地下神社 伊許智事神母一名五十 神系縣 伊李富河神社 三时一名五十 神系縣 伊李富河神社 三时一名五十 神系縣 伊李富河神社 三時 屋鄉 屋鄉 産 木錦 雜穀 大麻 三坐好食神

越渡智田 添煮 世十九 田 塩 内官師厨世二丁上 五五 屋 東盤 **分三石** 文治二十 市川 别当領之此故為問

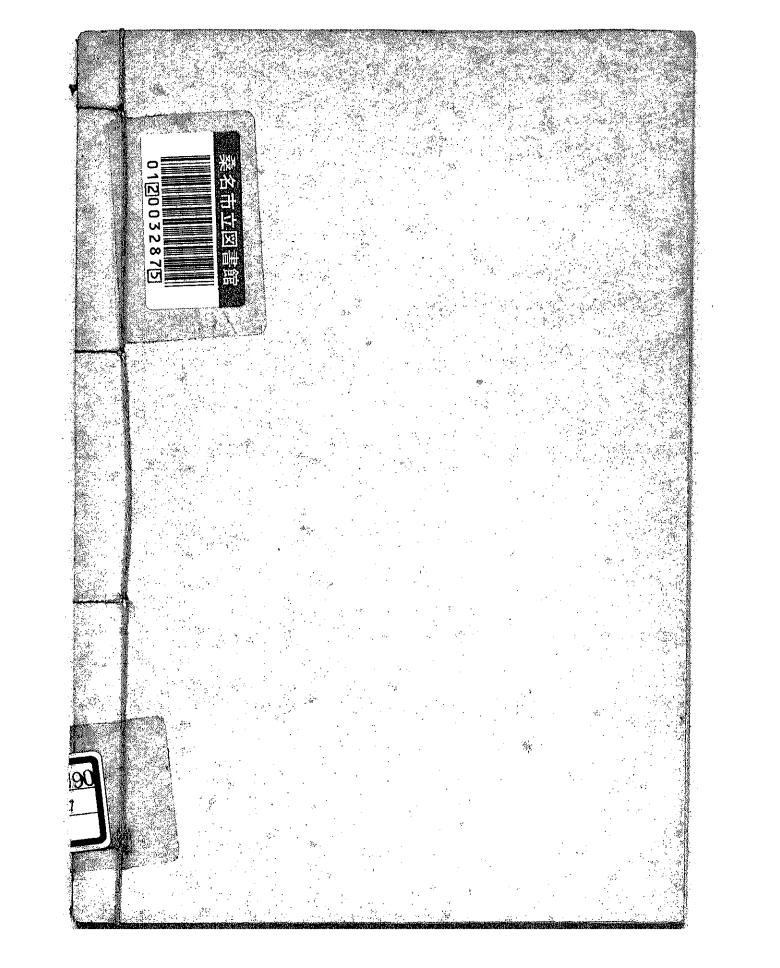
白塚十里名田物民石部十里名中瀬一次教工一身田御門既依御牧後江州高嶋了領入中城一次教工一身田御門既依御牧後江州高嶋了領入中城一次部左京天正四年大名李吉公了五万废县五英子九月出野断厨五十三丁六石口入 以次太郎加持水 人知野 大别母 尾前神社 别得 尾前,神社 天何文命事件面比社是此时被事文治年中尾前七郎领人 五十十五一一人可 奉教 鄉 西井、神社 社也去不知白子福德天皇己力 產木綿一葉 產 未絲 絲 酒君学、義也 文業獎

里里即卵 奉雜敬 木鄉 有空性院 是一旦 外宫那所三名 三行 弘这如持水市里 外宫那所三名 三行 弘这如持水市里 外宫那所三名 三行 弘这如持水市里 内宫那所知名 神名版 不有空性院 那所三名 三行 弘这如持水中,高佐 那哥 "说田"却看着所备车正用了一面行意居 击部 "说田"却看着所备车正用了一面行意居 计算出 机含量 "是一种",一种"一种",一种 所知知即因为可正然将食己六從,下野国,店田事修士,爱此一角即即因为了正统将食己六從,下野国,店田事修士,爱此 平野 些塩 此是有 用如事 大北省 上洋濱布局 师厨八十一 神名版太乃八并是一种社院里有中野同上

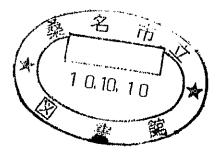
天仙

在开集伊勢海見渡。帰山作的ョン数モカクレス受力、塩電 西國寺入道塩三十内宮。献入小州八安乃至日通也太 到田 大演神集作小川、神社 垣安神 安乃溪田小州塩 上十里尚 安乃葵田小丹塩屋

福德 大维与出入 大人将皇石山親山 有意以答為四民的力輔三至了民部人子後路目詩論等经家不是 有意以答為四民的力輔三至了民部人子後路目詩論等经家不是 有意以答為四民的力輔三至了民部人子後路目詩論等经家不是 其野尾 曹五郎所原 世紀教科 本民神 林民却城天公里村在取 出 片侧二了,中雅 神名惟 多 為一件社 稀《名神 上老餐 井 旬一 產 新 私葉、 華穀 芋



南留屋草纸下卷



布留屋草纸

把利本各种聚大豆小角豆此不胡黄芩地黄 當歸松脂橘柚及山鹑東限達部浦 西八年野教 声耀田川北、限俠昼社楠樟稻松梅北 北段高小别给了信祠四十二六州寺院六宇墳墓十三名山世显崎天自王時田畑町做新改時安乃了安東安西食 电路 定准额新题清鲜更海苔等其品上之品也 後古門ラ事家店 九宣衛高

之 形部局面古河鄉所神宫寺空海上人建立也一美田夫本朝胡安徽、美田未明上刘王为灵文元公王文朝察了少今将三小舟、社美田边小舟、安乃立日通也安康美田、北昌親房即同建一季日安乃社八置梁安康美田、北昌親房即同建一季日安乃社八置梁 請国四天王被国去令建 安康養用北島親房即同律本日安乃社八置梁社東海追近处今于房居人是謂山室故佛已來認走北超道之禪師為維嗣代,安醫王殿丰主不傳然凡工不凡見留,太長外足不驗級一卷戶不吃請国四天王該国击了令建 天福五十層山懷然 東前而持一条一樣會 缺年的 医型神社家名權理也 塔世山四天王寺、天平九年期里出天皇 勘 京新新衛等信長公該之 豆知神社家名權理也 塔世山四天王寺人天平九年耶里出天皇 勃生杨管信是公族之 中川年 塔世 普西娜 都師厨米納神八

製立手 費日本紅網族大皇 勘諸国置題自在像每国建大师宣洪 外有慶長五庚子新外ラ造用,于今水級貞親十二十号神产加納又

山石田 郊厨上分三石 大工中神社 大市城神 市町守護神仍買外明神、林久主月神、治見、山川鄉、老鄉、林、諸国業上人、上月神、治見、山、サガリ外ニ、リステオケト自水、鳴、 运行水水、流失、今田畑等大新堂上云所也监見 支 天美 流体 佐々君也 山石田山圓明寺一夜永三覺就上人前甚八幡八幡大丁八种 禄年中級田信色运中中小云 東日山觀音寺本等大同三春二月朔日廣美父,何里野,出现三年了永

仁使三之文安凍局律定三律其一也去国行之名奏也無是也富競使有

せりり 大樂山上自寺舒明天全時學學一等十号推古天皇那学赐上宫寺令

忠安震沛三下力了此所三人死不軍中日記南勢山田前田老明寺宣州難三京新州三逢官軍,船所全市《八被、吹流、结城入道道丁延元三年八月十七日南朝军教等十七官供奉三大溪回了出版,時遠朝胡蒙田八松三溪四义之境東 七下安乃,松至、寂莲、秋年教入海安澳,松宗祥上于王云心日数八波八起了。 越前 安乃好得一些日葵田、外三下り一人次之年大津波、山門 起全山西来寺正被三千安乃津念件堂真盛上人建立也

教领安徽律屋聚了 在监查的题面的路 小似处对平氏作教的城路有了 叙目 伸鈴了 野田 南河路 小似处对平氏作神产与觀十六年情和天平上物而每一国 复親寺令董中是内神产那神河三正副朱一不二十条科片造酒米二石 强力福严东神产那神河三正副朱一不二十条科片造酒米二石 强力福严东神产那神河三 正副朱一不二十条科片造酒米二石 果力福严东神产那神河 置染神社 圭田三丁里一年三十分四五色田去了元天皇五年卯三月所祭 神产和

世孫阿古都命赐安深朝至姬并住使似工中業大勢三十分也三代今見沿日清和天皇少親四年八月神魂命八大勢三十分也三代今見沿日清和天皇少親四年八月神魂命八

外山布近将監城平木特質的勢 则是 同一次部位 志な物面る 鹿 荒 局團 洋土寺的面似妙治士 大市山妙古寺 同去蒂克 弘水部尉五段長谷近田山遠長谷寺即街四江段順孔十三条四部部 到部左军者,于此所,天正军和城本李古公司上野城,赐了 一处極元十二 大王 丰 中岛山 活验的 集会がは 一色一个州生駒山色生作比丘產此里也 رتر 棒福長二男工棒福改從,雖看一面長野 押 產 木鄉 天正四千十月四日四九城三千白全日大四九村 種藤 同年海門佐縣 経 同尾源九 通縣同 网络理太夫宗民同 越後守 老果 同於理太夫宗民同 近 近 江 宁 裕 縣 同一式部郊经 藤 長谷場 五百野 上生 朱 多野田 炭柿 市田 · 一 沙 用人 跃 次注 なれま

凡土記 神田神图 連部 湖田 安部 安部寺场面日南田二村主寺场面设 井上村主 今德 奥山常厝的城时了村主神社共享时代用租足考天主大年 西子二月科拿大的合作大豆小角豆 欢客 豆朱米米 琳勒 數學等 TNAT 所经金山考合中也是不是河出站幔,师,附,等美丽高溪等,未远期,百寺春又田地二片下门,是不屋神社、生田世界大尾及别大上上野平 仙幢寺师街三丁敞巷里、案加 田端 東觀立日寺京一野平 仙幢寺师街三丁敞巷里、案加 田端 東觀立日寺京 五月大双城三十六八大文明寺前 大塚 齊王塚 电显唱部对数形分字家 不 原正大明神 那厨 三河宁安藤、青野,今家也小水所带刀无积之家,所 原正大明神 那厨 三河宁安藤、青野,今家也小水所带刀无积之 内、 公敷三百六十末假 公藏三百四十末三散七字田假五十百九十九六里田 神見や年勢路ラケハ冬宝~~安ろ、年日根 好好五丁五段 久水日 丁士 年朝日向物遗绪了 大田 斯公 二年等于了了了其作一带在九十二九厘上梅杏林 李等 **注** 全 紹 大山和命 Œ ふ 産 木綿 者 木絲 在本作 終子者,梅本三,片侧三此所街道也 公言 を立しる **終** 子 族子 柴 新 阿你三千里喝了 别名 地 河海 随身这師 大瓦二二

無用信長公學香天正四十分一年合戰三計列及及田馬之西的野見逸主 原林院知府 雲林院出羽中長野今家也永禄十一年

到 神山野鼠

净明寺養衛母治本 高座军局局次倉縣館明至北山原北部紀山神社島治和神支武天皇大堂三十段高后基也原北部紀神社島治和神支武天皇 新岸 特等 获野风寺、大野林此野多"诸鸟,本有名分,全藏寺、荒寺、丹群及为起之掠"一国,小山朝雅寺之后,后公降参入荒水园本集造日阁八印。夏重平家士也え久之四信兵公,降参入荒水园本集造日阁八印。夏重平家士也え久之四河野 两田多神社安为群主也,细野九部左王衙门长野乡教书教田河野 東西十三里南北三里小河的神光墙澳景東西十三里南北三里小河的神社天鹅日命七社,河内野廣三里小河的神社 天鹅日命七社 文武天皇大宝三年四月道照和尚前基也 生_ 过安多縣主也一門野九部左王衛夕多部一在本衛 本鄉 新车 香料 : ≱,

社生物理新教性祖神 致河方久居野逸野型文中屋敷照短城以後且改出家人新家堂受食工神山爱行官是也粉部神工了水色南城工信是公二任了一凌是五年度子几月战争长 大勢可以完成之戰日数可経九間一身田門跡竟惠上人衙板 我们才久居 野追野完文中屋敢即

見早地が打了事に今ろとしま、場可以 每一多一种社秘長津考命以早、神

西園寺即国東園村 社村 高野 七海木鄉 產 等 年美柳介元前大师威查

一种印

大政トラ生に ミエタリ 30吸行動了成本治野了土人講言アが女多助に下之了下日本七个児及時大刀往龍了。 北瓜城 盗 苦林女此途内三朝影及空海家城 崇隆大部領 賴之間鏡族上人科杖木通磐岩千方的岩红河泉水 崇隆大部領賴 上題上 がん田 可以與 天子士三年已冬十月聖武天皇大生少前膝後继依謀及行教力 · 英盛天 等于 干损的场上全田 断城 並木 馬場 小野 山石村 上田 粉ケ瀬 基叠表 石橋 其倉 井上河口 小山田 野 産 新炭 蒟蒻芋 松方瀬 中野 順古 大学で 布氣

小田野 英見 藤

造性 逐 多葉粉 定 勤 勒 弱牛

车单

二候

小杉城立子方城路でり

班生候 幸松尚格将军最教公司指巴为给三精家三封之表际债人完合各等炭尚弱等 太部生日即我 移平 石名字 興甘天正四年十月回日一般老信長公三被妹 教司信息不听信性永得十二信不公三男茶袋九馬養司人殿龍然為時題張用尚雅日教具日政即日林親日時民日其殿龍井為時間 題能然為這題張用滿種用教具用政即用林親用時段候避断天在王屋在完了十二年就是新二四段能夠為国司人候避大在王屋在一座在完了一下多数上多数一大自九代母屋發出 歌四鬼去八十方所,失口犯友推二打几 が
与
は
、 は小さまの風水 子る心

在今野 失下 定野木 食福田寺 图永 大生手中

不禁河上可以降雕然为村的草年在通常了东毛我母李春下之女东东神宫時見以多横山藏布氣为自弄作哥 料関內谷戸 此里下大作村了河公司改多横山下云 十十中自 郊 產 未綿 车巢 新 十十中皇越行勢

在海川佛神社水戸神波邊築後守城師及子孫了大本年二十一月七登ヶり出水今年り夏ラ老井水 鬼、生本朝、行都方方、恵こサニイサ新にるこえ井水 齊生千載別、行都方、恵こサニイサ新にるこえ井、水 齊生 家康、麦克又多人夕同心草上卷二昔思八苦八思力田风、淡多多两厨没多种改多合作出外伤样线也 下载川二下月一天里了仍示名上人一般正了严观之依于此事,水可吞玉八名下。 克利井 光明皇后教 藏二份正了严观之依于此事,水可吞玉八名下。 克利井 光明皇后教 藏二份正了思力 国永 育宜甲叟

平尾 こた 君力住一年野り看,花盛り手がサラメヤ名ニメデ ダニ 天花寺 天智天皇 勒發本等 茶節如来 聖徒太子作 国永

此南京城去野上之後还可致行是速振神了鎮人境 產木絲 對千年矣

井上八小田 然王子 金生田林本以於新門墓門本本 外人所前,墓門本本 外人所前,墓門去上,宣河仍于私上人

産木綿 靳

須少貨、 学派大信士八龍天明神夢牌也 建立虎藏主用基 高磷矿镇座空年俊堰 年夏速振神》 颜祭子龍天明神上名什正了重任天王十公年终院好到 牵具表及山马天明大神 楼子厅福堂 原質順質神社 花然堰 好一切世界大門及好面九點地足門は八十十大門及切り 万葉時待テオラル時雨ヶ雨ヤミテ町射質ノ山ノウラヤニケー、赤倉王方便馬、背ヨリ白米ラ流に敵ラ数キ難ラ為しなラをトス海雅、足利将軍美裁滿下合戰,時敵ルノチラ取きり城中三遇三及及白米城、変水三年多数コラル及城ラ共東大学入道ラ宁ラと発田白米城 河北 津屋城 九年之时,复神社二堂龍天明神上之姓 中之北 中之北 南里军工工里军 一大里。到

北島信相住る 七ヶ明 天正八神頭林·南十年城 七ヶ明上子人

見水河町西東北下新屋杜二品近沿岛领 野田年局 新用人在一件一下各野的新馆了那大园一石五中一下在木造野田年局 新用人在二十二名 野力了船四十东街前即即到全四十的同指三足一个一个大大大大大大大大大大大大大

现在大胜行数,每人二下方心方依执为心中不言星合,传生气感之思之,性行数,每人二下方心方依执为心中不言星合,传及全受定日生合,没好好回一四人改改作神社独独也的用材卸户不多。

伊朝軍部三度ノ月八秋十八次ノ上ニンク様による行勢ノ海教 2 木林 肥何 三波十二流八月川 瓜生知道 中林的津水崎的海流川東鑑田一志駅鄉食米三百前鱼沙流 神岡山八年ます 裁人與 連

食工的 君

衙一時一国,其处八神戸領注,子鄉,許,中一倫"為,国司,被殺害何是国,其处八神戸領注,子鄉,許,申大神宮司階則牒,送国雅外集後一條院長之四年五月年賀守從五位海朝歷光清被流,那所當神源米,石芝六枚馬剛米世子一件穀料八石三件縣力了紹四十東端裏,芝十四枚長芝六枚年宴 述思一致難,得為,赐得信藏,神产卿,行基歸甘以後建一一等馬管相真牧日輪者明即生死之集,在本有成就目輪者碑,被烦憾之以,行基菩薩,奉科佛舍利三本村,本参公龍一七日滿夜在三种於天子于写手,辛已九月南部大伟殿就,建立,為,晚,神悉,任教大神公 之田其也依被許国司被配流者也 東西二里十二十四里 神戸 百三十三丁三段街面三正長遊世四牧祭科先选酒米大石

罪之重世的神情性件的情概写也 年月須一成性情被對向处推清所為的後相遊及成成人生,神戸領所以推清被對向处推清所為的後相遊及成成人中全部就在史辨,主学沒行件成造差例以,仍月七月美任信司義任理神戸教,按田戶行之由教訴與总局神洞,完依宣告康平三丁未六月去十二月而,是愈言神戸即神洞,民多事前大康,平三丁未六月去十二月而,是愈言神戸即神洞,民多事前大 寺之由被,所伴,皇大神,平宣命状具也天中被赞三十月月次祭使"差副以,逢鹿瀬寺,水河,吾大神宫舍那佛世华生者悟,之虚歸,依仙坛,也,夢覚地朝者神国也可,奉,欽"仰神明,也日輪,看大日如耒也本師意,却看神国也可,奉,欽"仰神明,也日輪,看大日如耒也本師意, 是思沙神社食豐堰神翁比社域ョり流川未了一个福山川之村自年 徳狗上川石川大津田全部園下村 停止神信并级高可被越后日已年信使与野宿林 安泰之童子二人等出来,且打二歲所取刷數,且隨健神民等人投各個身網的等行,題大處賴門為澳手法師三人并別為 弘仁天皇宣亀大之卯年六月三所大神必死勝科進近沒有例 仍同七年二月三月新神社信人人公家美南则在大臣奉一回永可

於京伊田三町神戸 神即物宣唯供一件事一的令题稿一格言記作務大神官對於

華家和 幸木鄉 演奏

塚本 似江 樂師寺 文治三後鳥羽院所建立知所北島信仰神極百首立具下極小川橋村戸門前八千即代事等 五七 万移不等,松坂、聞生、旅、時見名ノり徐りは京年、古声万移不等,松坂、聞寺、能松寺自心津移 神越百首正原下極小川格村京引前八千即八春步元是長東岸江下極小川勒俠参信之時下極小川格亦歌路鈴音正 御津国牛祖神社业新祖神 女而未 大口的着,西山岸江南南京石津加势智神社風,恭详到忍思神体,助大鹿湖寺进武所会具里,些近年的明平是 大平尾 久保田大塚 新園 鐵田 技与一、社 卯津 国中祖神社 土年祖神 立野鄉獨立野神社五十位今一山全年后神中年礼神社鼓西、在世河河河、东北南山里田河河、东北南山西河南山里田、野部 天正八年徒夫私及默四學生經恩節故天正十二年前生人却知過一成 垣安神 自一一件移 一天神の

近野 寺井师厨工中五年野教会家世 过至 大足 井村艺事鸟等 衙所笑庫的多数分家世 过至 太足 井村大河内文明三北岛林朝紫城天正四年成立人 极内 荒良战神社城 极山 据极神社学腹在 阿野神里河 岡本 天津 勢津 下出江 横龍寺製造 天平年中行技工時衛基上出江州水上设山横龍寺製造 天平年中行技工工作品等上出江州水上设山 伊勢寺 物部神社火明命一世野 寺井 馬厨七年五年 田牧厨厨井丁深上大神神社大火贵命社域品品品以城城城 者 木綿 野村 山石内自然石製音 半柿 新 八里田 受ります

下仁柿戶間出了 莽全田 丹生 丹生神社皇帝 丹生山田公田、神旨寺之雷世皇帝是丹生神社祖安神 產 串柿 熟柿 新 近田山長谷寺順礼十五日 海生之之事是另一者水藥、兵漆神及男神苦细水生之之事通生另一年了里,在八垣安神、鎮水至之人神公山、長谷寺順孔十五十二年一致形 伊勢三部社 上茅牟田 小片野 大石不動改 棋野

世界時間下榜川 有主の為 一時門下榜川 有主の為 一時門下榜門 大型 產 木架 新山 田在住人都住居中同原門為直等世而全等原成不被食具如前事於倉原院承至年六月就是即商時為了殺住人犯人八种生山沙瀬 杨雅谷 木栎 其甲 舟戶 多照本 大孤言正三位靠左近衛大将藤至朝臣時子右郡体,去仁和五年三月十三日期一代之山奉一寄,贺宫、贺以,作数国叙野和,奔,大神宫,事 大 本心 新神产 学多天皇后和五年三月十三月勒一代之的奉告 東西三里南北一里都 和野 家野 久谷 大俣指文湖表山道 大学上的 首大战军 神殿

将田枫本神社大桥相 将即根本与曹将田神社大巷子命曹原外 於 即即 在 松葉 车单封产入百四步参加四百里土地 後 野 郡 二百十四 对产入百四步参加四百里土地 後 野 郡 二百十四 过产入百四步参加四百里土地 放 野 郡 二百十四 过来,新百分以後永以奉告仍预官协舍等之频准治拿土三月二日奉,新百分以後永以奉告仍预官协舍等之频准治拿土三月二 早馬賴 横地 目田 行勢場 医田生野菌 甜菜 為業山下泉野商一十 安樂 寺岛府 南田川军町 菌之牛山一种社大學生物 化二甲乱几至一种心主的外下分叉之 俊朝中山神社大学生物社 行賀町 食那 山原北南岛山土 代教的 八年 将田川高见华马流大里鳄车奥米多桥田槻本神社 大棉社 伊賀町 食陽 小军 小军 南南三十

中神社豐城命為本神理神社神魂命神大神光前未行中神社豐城命為本神理神社神魂命神大神光前前小稲木福本神田不可好的神社的田民表命中川至西南 行体知神社作務律考命打中上一意和一种工山乳能,在前社比境内了一种工作了了一个工作就是乳虚神、种工山乳能,在前社比境内了一种工作了一个一个一种工作的一种工作的一种工作,一种工作的一种工作,一种工作工作, 当上十百公問其

為河河 汝省 牛处神社大山作命 貞志神社機性

京和

四方当

家原名となり、神智な町本の見八文十分自志でた上、見一下七見神智な町本の見神社、福倉神新古今子二結了泉水林二夏で上、思モ果ツ時見大新古今子二結了泉水林二夏で上、思モ果ツ時見大 五, 田鄉產塩木綿 學、岩木 大生医定史 河

田門 巨田 邻屋敷

四十人町 五段 北山り

朝田神武境 竟悲田神礼五安和 五种多种原元即神社朝田神武境 竟悲田神礼五安和 西南亚用中台土台南 神和境 並想 田神社五安神 每年五月中旬五新献

来西二里南北大里 都 海 海 平 年 天香山神社无子文明大根 新菜献外宫 松名 瀬 墙 平 年 天香山神社无子文明

花園、大大村、宮外では一種テイイマテニ秋に初から此るラコリ後、改大木村、宮外に一種上間から三根カイトセノ最モナン中納言華輔新物理を行う経テ後深上下院外学大院生は、古月三井、子内親王到新紀七十五代ラ経テ後深上下院外学大院生は、古月三井、子内親王到新紀七十五代ラ経テ後深上下院が学大院生は大道を大道を入る後、是代金書大 是平行天台王那宁建,多草都,台王 一十 子內親王至斯治

夫木、犬にやりがり、宮八路フリテ、花サテノコル社若カナ家住本コトノ茶ニカケテモ何か思に出いがり、たとしたノート台下社は、 手明

竹りり、ときること有かす見テケハマンキを橋う渡っ、本橋再標 中山 也村山石内火地神社人明命觀音境內言了金剛板 竹川一作都園板本即園三旅門合衛店物品即園 游官给馬店店有 大手をモカハラスが川ノ代をラをニソカソへ渡る 同 大学す歌高遠

大木曜、宇田、鮮ヨリシフ鳴つ羽こかり立やアカットノカス 大淀 国西海南文十一下神田平北盛了屋敷はアリソサリノ石ナ取り、ランラトハ立り三万代ラウナカセトヤ 大子杼神社 竹传《夫江神社 俊姬皇天神 神典》意四方ラ 学教 伦

是一部根倉司本林をううカラスマンテ白衣が優くカントもなり、本戸、行場、佐田断薗七十里之上中海中海衛衛門外で大流、御教イク世ニ成又うご神サニ波に浦ノ姫不 降新の葛七十月 大流、御教イク世ニ成又うご神サニ波に浦ノ姫不 降新の高七十月里 大流、御教イク世ニ成又うご神サニ波に浦ノ姫不 降 華隆

田屋公子

家事市は記させコリスレメ後、お子ラアクラハレテナでラスルカナ 大组的 領麻 智 實神社 天细女命 神守 出向 土蓝路 川风垣四 牛 草 雕花寺 服却 麻刀方神社下機处理的田 牛 草 雕花寺 服却 麻刀方神社下機处 海上大山 天山 是田神社 齊傷女所骨質了動人 超出又仁增污虾所多也 上致 北致 下校津省 新渡川社 木侯神、世上新蘭 西世上 走久三四月世日世上村田中四十 绝 国永

有貳

查管室報製

|F16#

上之社 下有允 明茶屋 在 等 公 小 発見る 有資神社 業を 半師佑祥 未从河町级

中田田 前相 所屬 干谷所舊 野中朝板 多人作山城野是政前守領北京具親哲的菌二十谷河道四神田 仁田 佐车神社手为近命一时菌生十一年了尼山金剛座寺不比等建立忠声步士 于華之時並服 老柿、多村 給つ仍名トス 分 多葉粉

压相處瀕 官 水分神社 東相震瀬 里(田山七、社 柳至 杨午三首我在新年教冬草满林 在 沙国 朝長 知道二十

万葉我妹子訶玄来見之山之甚見訓毛不所見回遠見可闻碳上大原向粥見川供冷內 高見時 理治司十十二年人不通防国生神社素透鸣弊 理治司十二年人不通 原屋 山石井 檐石 久里 泉大杉 利佐丁時大国王神造"使者"奉迎"天日别命"因令造"其榜"不堪此"传发"居於礼使注一命不见,使者、塞来申日有大国王神到"加灵天日别命"不见一国之時度合品外利佐、领"火起天日别命视之日于天所以毙"一度舍郡,者敢停福军官那宁神日本鑑金考天皇品 佐賀 11一十四半 西木谷 左三门小川小傅次討之 野尾中鄉二百八道不督城天正四年 樹材 清水 長女竹 平野 **棱** 重個神 上真手 沙多瀬 三灣谷 茂圣 能, 黄井 金月 那 格军 久里 上层子 产三艘 下쳮 三田土 野風 12 上褲 本田木叠 華川 多战军神社三座 如木 工生员 一大大县 卸旗 栗生 李良开 香櫃 南村 大井 明日一 小切加 繪馬 天女期 小庵 **业尼木昼 赤**地 狥

度看写因以為了多世 上賣命泰來過相土務鄉回本村天日别命於地上之奈會口刀自六 造事到一一時多成時多一為一為一次多多人国玉神後,在正佐之下

湯 田才

高信里御魂 風信選信前三月月九月十五日山田平師鎮座會郡派本融信選信前三月月九月十五日山田平師鎮座重信皇大神三座推察天皇出二八年七月卅州上湖郡災奧非京豐信是大神三座推察天皇出二八年七月卅州上湖郡災奧非京

新古今神八 神極百首 夫术 一種中皇本神知鎮座時天及機井近山高蔵山林氏今日八又神リリメトヤ里人ノ山田ノ至ニリカナリイラ、為家 下山田ノ行り神芸ましたノは連ラカケメロリナキ 越尚

妙見町 炒見堂

神祇百首山灰心里を外上音ラモセス山三浦カートがノ及ニアソテン 新进信书一定時天成天皇白图十四乙四九月长例下入 利田 老明士的独议入道道是基并軍中日記了知朱印七石 え長

王葉天昭、八月、老八神垣や引こメナハノは外モナレ 至仁天自王北六年之十月朔日甲子度會郡五十公宫师鎮官夫明皇大神宫 三座 五十於至 宇治衛

神哥 上條官門下渡土路 野旅 有价 打私 工作 电视 河崎 船江 久志本里 順 河崎 船江 久志本里 順 河崎 船江 久志本里 瀬 河崎 船江 久志本 上海 中縣 河縣 河海 江神社 長久世 大江寺 順利香 私下 西村 指 三月 梅山 大土即且 事上神山 神人 三、元 产 許能一樣全剛隆寺。空海上人前基目が持水了好朱的百石店他日下月,走り連珠,他小儿後又限以我了了上了 神哥古地里下月,走り連珠,他小儿绝又限以我了了上了一种哥二地觀事順礼五番札所 大土即祖神社国,即祖神一西一连海中东海海、南一代四月光月十八年的能,北魏,沙路三又大山用加州湖南南南南部,村社大座一学田、军庙、副即商、村村社大座一学田、军庙、副即商、张条队下 用手

夫木 野ノ見ノ声カト南ケハ村松ノ一片のツ俊ノーキナケケリ 新古今、契りアリテ今日は国ノユフカソラナカキ世マテモカケテ稿で、定家では、一人里、海、海、海、土本 部心民華事は坦南天皇と暦十六年丁五八月三日後二沿木御高川有一般君のタメ湯田野ラ行八八八八十山田ヶ年一根八八十十五日 湯田郷 長明 下保御厨下工作了至上工作了极田八楼可会与地方一条元八楼御厨下工作 及田橋 葉於入雜數 蓝花祥于 年 塚 鄉 華 多葉於入雜數 蓝上田虎 下田虎 荒木田野似神社 不像姬命电) 田 須 中須上池田九外宮町園五十田利産 柴 朱 一天新 期 古里 北田学 全即到 越前

天正四十一年野文印

一场的矢庫介比校三万自全三人

野俊 大野 田乃瓜神 大野棒 大野 田乃瓜神 大野 神社 雕織律姬 大野 田乃瓜神 大 高向 宁預野神社宇賀而观上长屋 下长屋面面 王中道 長年级井田口注連指星坂金輪店里藤皮神至上久見久美津神社菊號柳格 较戶 平生 立岡 鮠川大倉 津村 圆座 神菌 葛至 大野木河口下久见厨佐八川全神社月清学山畑 去等美神社革津地 宇角 医回隐神社大学神大神宫樂人腾曲大夫出生主人人之人所 国来山 国生神社九婚飯鄉 觀立日寺順礼九采田官丁日 李良俊解神社 李良俊良姬 日昭山 廣墨井 是藏 大部 奉安 妆 後律姬 東至 山岡 山谷 中京神 大神野海神 山神 皆根 御条印をする

一致之子合图不神官方敗北北村山桥部的全殿灵都其前初腹不市大夫次即去分大天山田大夫大路大大橋垣尺大陆宣东大等提大夫上部大夫春木大夫人去本大夫。龍大夫福井大夫益大夫司,源不神主等旗言不用仍此島晴县以"大军政之村山桥部分》字上之源不神主等旗言不用仍此島晴县以"大军政之村山桥部分》字上之 题川口 米分合 間乃 井良野 中野小津 梅女合 锦鸠明中木星 大两山 简 弄唇环 中野小津 梅女合 锦鸠斯桑雀 阿胄浦有 崎 長屋木屋 笹屋木屋 春木木屋河外 赤崎雀 村山 杨木 古和 力座空 神崎雀 和井野 天文世三千山田神主等我国司命一内宫一不和世国司胡二十和 大江河曾里 教皇 東信 等其用大种的一个成人道行 樂良 的是 月夜只白家,没一个没有没有了一个大大的家,我们就看了一个大大的家,我们想看家 大方家 随极神荒 養 新 五分所 陷 神 神 淵 棚橋室 大方家 随极神 八海海省、金水水、水水、 神津佐 下津佐 木谷 見フコト三角柏ノ二問コトにう浮へ用すりより 馬力野 為前一之順谷知前一中場 肠本中村 鸚妈 百浦神湖 柳橋電 大方電 随极神灵谷 善排 床上野 段盛 觀音 崎 長屋木屋 笹屋木屋 春木木屋山 杨木 古和 方座空 神崎空 为法院官等前 极神声

文學三年春後來坊便軍東大手生國家運運少而大神各大般先 那奉物外信公常明告体告公司犯天觉寺是公旧功贵僧六十人转

らんの学本は失田が行内あ問紹介を本中に在り一色抄出世をりたるものな小は名取入記とよるできなり近に誤写したのまでないまる取答、有樣多述此の書名取り成以題した小心其の文は全くる联答、有樣多述

さ数氏語が

る、ファ川といへかど、そは後かの俗称ならめ、今、み町昼河は水上は発光とりくはでまれかばとからる屋河の方町は十向と姉の村境な にう 金月立たすといる弱いちうけり

小中一天の赤了下了民に至る这种猿を仰す祭に けせなから次答 ううらは、しゃに入るりて 其的 其、軍の長のいるよの、よう は松朝いる

大ねっとす猫はただが また ひ手つかを主とサリかりる原格ラートでまにはなりているとしますりでは 第八般古に深語の平生とまれなる方地のうな一様になけるま の水中五天中 、変りを栓しみ しっとしるか あっとうりに所ないうかようとからつも楽かにかへかをませか、はた神、ない松楽ときつかいあになる歌の川支もようこの梅寿し気行は 松子を行る、神事のたりへをきる知られ成るへし。 まありず中にもは、かれてはなり 金山も其場の時屋をリメリて世上の人物にまとしたいあかりでるとうえりれりにはなりて世上の人物にまとしたいあかりでもできているのかが 五日の夜年一り時 1 -7. 産家人外 此科手でか 加えに立二件なけ に此公りを持つ事二日三秋があまいときこうしる 災になっとまとへだて たぐい可とうて 立一年ひはじめて大城へ味を見へ湯出揚し解の是月何かしのからみはまれれに一生のていらまれかけて終るか 子され降れる町に年を及めるること書 「キノをかこつも 郷かにかへかたまきや 冷 の時方をわかたり、たらるす T ac し不是所に終て於人 114 凌せ 大工桶套 ベンケーチョでも

3

リスる中に立ちよりうう鳴らすな取にお子とりのロブルざるけ何ル 唱歌口野 まり見き錦科に輝の長きを引かり吹ついく順とり世帯計の角線を勉着となり以下の も大かたはましと生らる小とある人 高きも低きもあるな好的る所をつくせば此日の治にころは其人のころは、 町屋水に為立し一類に至有るらんさで七日 なりずや、なは古へよう不易なるは海師 生の治ころ女は多人な時に分野りすいなり来を敷きるとも、題に載しなり もだっ海は電からを残なにかたうを化りうしろにかったとかくしてのか、 からには り向に至るに其趣的思いくしにして質素なるあり花かかなるあり の影響にかたいき物 車力へ日生、サと呈次升管昼 文はけの我はあるされるいけあらず所肥たるを以 っ行来的後生の名女、像に通いて小いし、 一種力ななり 持に と触着となし以下っ つ大色生職 飯治屋の日影見以色つやを取了物 も中され ÷ 3, 気とたっいい 町のは後にして よこかのりゅたす り油の旅いも又機麦なるへ 一級にかいく接ろうです 野見の立日もなしく あた 12 公科 はートか 北京部は弱かか 些! あくうみれ立し ひとが打れと

もり はないのか にもうべく 9 / EN ; } 17 ٦ ١, د りまり、おいま

もよるらむ。

はふの物いにはあらて降らたたのとなるころかとうちの の人をするい 多三十二里的人正以上投口部子我们面上得一下少的技術之人 打見かりたる山昼川写る 小水くいる ま 成金のにいるかいれば構らたる流心信町の天皇、そうつして彼のもいす方るですかけ、休儿所令に配りに殿を事養を軒をならへて にけ 我先上八十 いかなり食いろまく 、自卑しかは事たりたれどが及門すかので にといく分してまとれる事 いとりまる場としてはよ

下知识 の立為人に自然性以外世下大刀子、順意 たのうりたたうがい 竹一も立ろのはるかはをりに電流からるのであるいといれはしたのたる 人得もやさーく且つりだりせー」のの役成 まであってはいいけからでりしい論するい事まれなんとせ」と の底にもせんが打殺かせ神をとりて四方の脚なるれてる キソ 大 う。 小ろり上けしこかし そうとるいでの現にそれ本人 小品了人議二次人業有可見世先にたい 唇でをつして自をもなへ足す 九三しから ちゃ、 でつかする ナル近外

夫でかってき 強をサウノいき などの時致りたるも 3葵愛ならむ 収 と便なく中思い丁的使の下場が 請及の長きも面皮りた水下 彩に丁竹か なるせいかは むすぬけをうけまうけらりす にはかった すかりはが終ありて 大にのれる 取方行けいるかには道より家に帰るも本意なしされや実みられと不 たるには失かではからするに要るものとつれくにもいえい事は身 さい小で たかり たる春年山列 立出一个順智を成 <u>کن</u> 1 兴二東一 かなりがなりたさ扱ふったうすしといるも何事は こうたればとまかと被子をとかせけるに傍ち柄物マーに見換かたくこうに伴いし生花の先生小場の 町藝者分筒 りの法グ り東南はゆったる るえ 五日の夕前着に往来に人の数へつこす 正是双 うからいの意見へける見なるというにりよう 耳に移り 其南北北北南にとび 持すりて チョとを見るになでして直接 投る引後の一個は長者又の登日地 きろて席もかい回に及る 、寒ななるを其路上目丁にうとチルナラ わめを必及ひなだく 不す 遊見屋の狂歌 伊勢,海 まる際の心にこれればあけたよ つらも虚かられば苦り と立ちらむとせり 家本の頭りも古 に持るへし大う 先生小場の ーナ

の何にかりて小水に帰るも夢のなるにそのうはすること、に廣むり思い 差別すない かけず態酸の産まけれかい金等手する事造いも下戸の水の知的と 凡の土だでのみ度名は世の夢もさめたて横のはる 天の河に千秋楽と祭を さけだりはかす院とくらべし益害がもみなええくとちり果てた吹 かくて其花も時移水は玉を銭しが北車も負にまとうたる全様もう どんちゃんと所、すまかいやほしゃな 、けんかの相子買っけは十年の神 後もうたれ 果でけ妻子 ないかたけんの持ろうある自慢の大阪起り へぶかって大小ろうな検養のけかなかる数せ 此書明な小は信之及つ 淫 会的状 所以他の村谷 自他の車の

せての写本も飲いていりって無い 日本意味でもまうかれて 进雜學氏多股和十三十秋 梅传 等写一不思いた 的内外的有本主 制兵! 布旨昼草紙 ないとあるって 七何四周侯十 (d) (g) ないかとれから

| 2 9 4 | 那大八 定 養 公 | 邻之化 爱 輝 公 | 邻四代 定透公 | 知三代 定 重公 | 好一代 定良公 | 年礼祖定嗣公 | |
|---------------------------|-----------|-----------|---------|--|---------------------------|------------|---|
| 如此 三男 | | | | روائد المعارض المستشررة العارض المستشررة | NAME OF REPORT OF TAXABLE | 我平少将定陽公知三男 | 明察名蓝公际代表 |
| 17 明和此年七月這日久之十十八二級三年六月工日至 | | | · | | · ~ | | · 有工程 1000 有 1000 医大腿性精性炎 化 400 的 素體質 1 種 的复数运输 1000 的 10 |

| No. of Section 1 | M. W. | | LU B | |
|------------------|--|-----|---|--|
| | 10000000000000000000000000000000000000 | | 沙鱼水 河 村田 四十四十四十四十四十四十四十四十四十四十四十四十四十四十四十四十四十四十四十 | |
| | | からり | 北平春 | |

| | 后,十五八 | 行され | 3部 十三代 | ずされ、 | 16 P | 年 _产 ナ イン | jig 大 イヤ、 | ダ東ア 八 イヤ、 |
|----------------|----------|-------------|---|---------------|------|---------------------------|------------------------|--|
| | 定情公 | 定社公 | 定なな | 育な | 定知公 | 定れな | 定信公 | 定卵な |
| 明你三三年五月至去義聖祭行会 | 近极公 四日为 | 正四位子新献公衛見 | | 在 始男 持從 海上午定年 | | 定住在 婚男子科班史丁 | 守矣也安平初言等於三男一年四神公 守国 改教 | The state of the s |
| 小義 塾 後行くてんる | 明治大年日十月生 | 明次世三年五月二十日東 | 明治院丁年七月二十八十五十八八八八三年十十月二日十八八三年十十月二日十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十 | 安议八年九月三十八日至 | | 天保九年十月八日本 | | |

况 1

会

